



あきば

八王子市立秋葉台小学校 HP(<http://hachioji-school.ed.jp/akbde/>)

地域運営学校

学校だより
令和8年4月30日
No.2 (526号)

5月の 目標

生活
保健
給食

進んであいさつをしよう
けがに気をつけて遊ぼう
食べ物の旬を知ろう

「やってみよう」が、未来を拓く力になる

校長 内藤 彰

校庭の木々が鮮やかな新緑に彩られ、目にまぶしい季節となりました。爽やかな風が吹き抜け、子どもたちの元気な声が一段と大きく響き渡る五月。新しい学年がスタートして一ヶ月が経ち、子どもたちは新しい環境にも慣れ、心身ともにエネルギーに満ちあふれています。一年の中で最も過ごしやすく、何かに挑戦するには最高の季節の到来です。

運動を通して育む「主体性」と「挑戦心」

今月23日には、いよいよ本校の大きな行事の一つである運動会が開催されます。また、6月に入ると全校を挙げての体力テストも控えています。この「運動の季節」において、私たちが大切にしたいのは、記録の更新や勝敗の結果だけではありません。その過程にある「やってみよう」という子どもたちの主体的な意欲です。体を動かすこと、「運動」には、心を動かすきっかけが数多く隠されています。「あの子のように速く走れるようになりたい」「去年はできなかった鉄棒の技を、今年こそは成功させたい」「チームのみんなと心をつなげて、得点を入れたい」こうした純粋な動機こそが、「やってみよう」という心のスイッチを入れます。この「自ら一歩踏み出す力」は、変化の激しいこれからの社会を生き抜く子どもたちにとって、最も必要な力の一つであると私たちは考えています。



友達と共に高め合う「共生」の学び

運動を通じた挑戦は、一人きりで行うものではありません。そこには必ず、共に汗を流す「友だち」の存在があります。運動会の練習では、自分の思い通りにいかないことや、チームとしての壁にぶつかることもあるでしょう。しかし、そんな時に励まし合ったり、得意な子が苦手な子にコツを教えたり、あるいは役割を分担して協力し合ったりする場面が多く生まれます。友だちの頑張りをを見て「自分ももっとやってみよう」と刺激を受け、また自分の努力が誰かの喜びになる。この相互作用の中で、子どもたちは「他者と共にある自分」を自覚し、協力することの尊さを学んでいきます。運動場での一コマ一コマが、豊かな人間性を育む道徳的な学びの場となっているのです。

子どもたちの自主性を象徴する「運動委員会」の取り組み

今年度、本校では子どもたちの「やってみよう」を象徴する素晴らしい動きが始まっています。運動委員会の子どもたちが自ら企画した「休み時間のシャトルラン練習会」です。通常、体力テストの種目であるシャトルランは「苦しい」「大変」というイメージをもたれがちですが、委員会の子供たちは「みんなで楽しく体力を高めよう」と、自主的に呼びかけを行いました。大人が指示してやらせるのではなく、子どもたちが「自分たちでやってみよう」「みんなに楽しんでほしい」と考えて行動に移したこの企画は、まさに私たちが目指す教育の姿です。休み時間に自主的に列に並び、自分の限界に挑む子どもたちの表情は、とても晴れやかで頼もしいものです。こうした小さな「やってみよう」の芽を、大切に育てていきたいと考えています。



教職員の気持ちと、家庭への願い

われわれ教職員は、子どもたちのすべての「やってみよう」を全力で応援します。挑戦には、常に失敗や挫折が隣り合わせです。転んでしまったり、目標に届かなかつたりすることもあるでしょう。しかし、結果がどうあれ「挑んだこと自体」を承認し、次の一歩を後押しする存在でありたいと願っています。

保護者の皆様におかれましても、ぜひご家庭で子どもたちの挑戦を温かく見守り、応援してあげてください。「今日はどんな練習をしたの?」「去年よりも、ここが成長したね」そんな家族の何気ない一言が、子どもたちにとっては最高のエネルギーとなり、さらなる挑戦への勇気となります。

未来へつながる「生きる力」

この五月から六月にかけて、運動や様々な活動を通じてつちかわれる「挑戦する心」と「成長の実感」は、決して一過性ものではありません。ここで得た自信や、仲間と協力して成し遂げた達成感、将来、学習や生活のあらゆる場面で困難を乗り越えるための「生きる力」の根幹となっていくことでしょう。五月の青空のように澄み渡った心で、子どもたちが伸び伸びと自分らしさを発揮できるよう、学校と家庭、そして地域が手を取り合って、子どもたちの「やってみよう」を支えてまいりましょう。運動会当日、そしてこれからの日々の子供たちの輝きを、どうぞご期待ください。

大型連休を安全に過ごすために～交通事故から子どもを守る～

生活指導主幹 蛭田 ひろみ

間もなく大型連休が始まります。この時期は、外出の機会が増えるとともに、交通量も増加し、例年全国的に子どもの交通事故が多く発生しています。学校でも交通ルール等の指導を行っていますが、ご家庭におきましても、以下の点について改めてお子様とご確認くださいますようお願い申し上げます。

- 「止まる・見る・待つ」の徹底
交差点や見通しの悪い道路では、必ず一時停止し、左右の安全を自分の目で確かめましょう。
- 自転車の乗り方とヘルメットの着用
スピードの出し過ぎや飛び出しは大変危険です。また、命を守るためにヘルメットを必ず着用しましょう。
- 夕暮れ時に注意
夕暮れ時は視界が悪くなる為、明るい服や反射材を活用することが有効です。また、防犯の為に、暗くなる前に（夕やけチャイムを守る）帰宅をしましょう。
「自分の命は自分で守る」という意識を育むことが、事故を防ぐ何よりの力になります。安全で楽しい休日をお過ごしください。

○自動車の駐車について

児童との接触事故防止のため、保護者による車での送迎は禁止となっています。また、校内への車両の乗り入れは許可車両のみ、定められた場所となっています。許可された方は、必ず許可証を車のフロントガラスから見える所に提示してください。よろしく願いいたします。